



# 学校自己評価報告書

【令和6年度（2024年度）】



厚生労働大臣・文部科学大臣指定  
学校法人北埼玉学園

NORTH SAITAMA ACADEMY SCHOOL CORP.

---

# 内 容

---

はじめに .....	2
評価項目ごとの目標 .....	3
重点目標 .....	3
基準 1.教育理念・教育目標 .....	3
学校理念 .....	3
教育理念 .....	3
教育目的 .....	3
教育目標 .....	3
基準 2.教育活動・教育成果 .....	3
基準 3.学生の募集と受け入れ .....	4
基準 4.教職員組織 .....	4
基準 5.教育環境 .....	4
基準 6.学生支援 .....	4
基準 7.管理・運営 .....	4
評価報告 .....	5
基準 1.教育理念・教育目標 .....	5
基準 2.教育活動・教育成果 .....	6
基準 3.学生の募集と受け入れ .....	6
基準 4.教職員組織 .....	7
基準 5.教育環境 .....	7
基準 6.学生支援 .....	8
基準 7.管理・運営 .....	8
今後の課題 .....	9

---

## はじめに

---

グルノーブル美容専門学校は、平成 25 年（2013 年）から学校自己評価制度の導入を図るために、自己点検制度推進部会を設立し、組織的な体制を築いてきました。その後、毎月部会を行い、自己点検項目の不備な点を拾いだし、改善に努めてまいりました。

実施にあたっては、多くの方々に本校の教育方針や学校運営に対するご理解とご協力をいただき、反省すべき点は謙虚に受けとめ、改善努力を惜しまないことが本校の責務であるとの認識から、法令や行政指導に従うことはもちろん、論理性と客観性を重視した分かりやすい表現を心掛けることとしました。

今回の自己点検制度に対する学園の取り組みを一般公開することで、学園が更に取り組むべき点を内外に問う形を図り、社会的責任を果たしていきたいと考え、今年度も学校自己評価報告書を作成いたしました。

今後も学校評価を計画的に実施すると共に、更なる改善・向上に尽力してまいります。

令和 6 年度 学校法人北埼玉学園グルノーブル美容専門学校  
校 長 弓削 恵子

令和 6 年度 自己点検制度推進部会

# 評価項目ごとの目標

## 重点目標

1. 国家試験の合格率 100%目標
2. 広報活動の拡充
3. 中途退学防止等、生徒指導とフォローの徹底

## 基準 1.教育理念・教育目標

### 学校理念

あらゆる経済的事由を抱えていようとも、その可能性を閉じてはならない。

美道三大原則『美』『心』『技』

『美』私達は、常に美を追求し進化し続け社会に貢献します。

『心』私達は、常に「ありがとう」と言える素直な心を大切にします。

『技』私達は、常に高い技術と知識を身につけ成長し続けます。

### 教育理念

「美」「心」「技」の「美道三大原則」を基に、美容の理論と実践を通じ教育の向上を目指し、常に変わりゆく多様な文化の中、学生を美容界のリーダーに育てると共に、社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、生涯の学びへ導き地域社会に貢献する。

### 教育目的

学校教育法並びに美容師法に基づき、美容に関する専門的知識と技術を授け、美容に携わる有為な人材を育成することを目的とする。

### 教育目標

国家試験合格率 100%を目指すと共に一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成することを目標とする。

## 基準 2.教育活動・教育成果

- 国家試験合格率 100%を目指すための教員への教育及び生徒への指導の徹底。
- 学校独自の教育内容の検討及び専門技術の向上への学習内容の精査。
- 全生徒学力引き上げの授業内容検討。
- 教員の資質向上のための取り組みを図る。
- 資格取得のための支援体制を整える。

## 基準 3.学生の募集と受け入れ

---

- 学生募集活動を適正に行う。
- 体験入学の実施方法・内容を検討し、体験入学からの出願率を30%以上にする。
- 高等学校、中学校の教員に対するオンライン説明会を実施する。
- 入学選考を、公平な方法で行う。

## 基準 4.教職員組織

---

- 業務分掌を見直し、各職員の役割分担を明確にする。
- 教職員同士の連携を強化する。
- 教職員の一人一人の能力を最大限に生かす。

## 基準 5.教育環境

---

- 校舎内外の整理・整頓・清掃を心がける。
- 快適な教育環境の管理と今後の投資計画を検討する。
- 防災・消防・安全に関する具体的行動マニュアルを整備する。

## 基準 6.学生支援

---

- 就職相談等に関する体制を整える。
- 健康管理への取り組みを図る。
- 入寮生ほか、学生生活の健康管理を徹底する。
- 保護者と適切に連携する。

## 基準 7.管理・運営

---

- 教員間、職務間の連携を行うように、組織間の仕組みを構築する。
- 運営方針を定め、運営組織や意思決定機能の効率化を図る。
- 情報システム化等による業務の効率化及び改善を行う。

# 評価報告

評価方法：下記の評定数字 4（適切）～1（不適切）の 4 段階で評価。

- |   |  |
|---|--|
| 4 | 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後更に向上させるための意欲がある。 |
| 3 | 概ね適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される  |
| 2 | 対応が不十分で、やや課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある   |
| 1 | 全く対応しておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある           |

\*青字：前年より評価上昇 赤字：前年より評価下降 黒字：前年同様

## 基準 1.教育理念・教育目標

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	4
1-2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	4
1-3	教育理念並びに教育目標は定期的に見直しながされているか。	4
1-4	教育理念並びに教育目標は教職員や学生に浸透しているか。	4

・長らく目標としていた公式サイトリニューアルについて、本年度よりようやく実現に至り、委員会より御指摘をいただいていた「教育理念」等の一般公開も、学校案内ページにて公開することができた。従来は、来校に至ったものしか教育理念に触れる機会（学校説明時の口頭での説明および資料の配布等）がなかったが、今回のリニューアル&公開で広く一般に周知させる第一歩を踏み出せたと強く実感している。また、本校の沿革についても同時公開することができたので、より深く本校の特徴・魅力について伝えられる内容になったほか、デザインについても、従来までは敷居の高い印象を与えるもの（大人っぽい）だったが、高校生など特に若い世代に向けた“視覚的なコンテンツの展開”を意識した明るく楽しい雰囲気デザインに仕上がったことで、今後の流れが変わることと予測している。同時に、広告の展開の仕方について、セグメント・ターゲット層も変わってくるので、常にデータ分析・状況や流れ等を把握しながら調整しつつ、適宣適所へ広告を出稿し今後の広報活動拡大に向けて更なる改善を図っていく方針でいる。

## 基準 2.教育活動・教育成果

2-1	カリキュラムは教育目標が反映されているか。	4
2-2	定期的カリキュラムの見直しが行われているか。	4
2-3	シラバスが作成され学生に配布されているか。	4
2-4	授業の点検評価が適切に実施されているか。	4
2-5	目標に到達しない学生に対し適切なフォローが行われているか。	3
2-6	美容師免許取得率の向上が図られているか。	4

- ・昨年度までは、高等課程における漢字の識字力、国家試験合格率向上など課題の多かった年だが、今年度はついに第51回美容師国家試験において、美容科・第一部（専門課程）が合格率100%を達成、高等課程についても合格率96%と高い数値となった。これらは、教職員らの適切なフォローの結果と捉えている。しかしながら、通信課程や既卒者においては依然として厳しい数字なので、限られた人員と時間での対応の中、全課程100%達成は現実的ではないのかもしれないが、引き続き実現に向け取り組み、連携強化を図っていく。

## 基準 3.学生の募集と受け入れ

3-1	学生募集のための広報資料の表現内容並びに広報活動の方法及び時期は適切か。	3
3-2	入学案内には志願者が必要とする情報は掲載されているか。	4
3-3	募集要項の内容は適切か。	4
3-4	学校説明会、体験入学の時期及び内容は適切か。	4
3-5	志願者状況、定員充足率はどうか。	3

- ・昨年度の課題だった“アルゴリズムに即した内容での表現方法（検索及び広告ランク（評価）が下がらぬよう、公式サイトやランディングページをキャンペーン・割引ごとに修正し正しく表現すること）”を意識し、適切な広告見出し・広告文等を作成・出稿（広告に体験入学予約サイト・電話問い合わせ・WEB出願等の導線も引いた）し、同時にインプレッション率の高いSNSを重点的に投稿継続した結果、出願を比較的高い確率で検討している層の囲い込みに成功した。又、従来あまり見られなかった“資料請求せずいきなり体験入学・平日個別見学の予約”につながる層も徐々に増えつつある。昨年度の定員充足率については、専門課程は目標だった定員の過半数を超え、高等課程も同様に教室が満了になる勢いで入学者数を獲得できたが、いずれの課程においても定員割れという結果に終わったため、今後の方針としていかにナーチャリング（育成）が重要であるかを再認識させ、学生募集の最重要課題として注力していく。体験入学は、内容の精査・見直し等を定期的に行い、適切に開催継続をしていく。出前ガイダンス・説明会の実施については、無理のない範囲での実施が前提にはなるが、前向きに検討していくこととする。

## 基準 4.教職員組織

4-1	専任教員は設置基準を満たしているか。	4
4-2	専任教員一人当たりの担当科目、時間数は適切か。	4
4-3	教職員の業務分掌は明確になっているか。	4
4-4	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか。	4
4-5	職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか。	4

- 新任教職員への技術指導及び学務指導をまとめた指導マニュアル・事務マニュアルについては、通常業務と並行しながら継続して作成中。
- 一部教職員間での共有漏れがあったため、都度反省会や定期的な小ミーティングを挟んで二重チェックの強化を図った結果、共有漏れが大幅に減少した。しかし依然として漏れがあるため、定例ミーティング以外にも教職員へ共有をするよう呼びかけを行うなど更なる改善努力をしていく。
- 通信制高校の定員増加と美容通信課程（付帯教育）における土曜日コース開校を視野に入れ、教職員の増員を図った。新年度に向けて計画通りに進められるよう努めていく。

## 基準 5.教育環境

5-1	講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか。	4
5-2	実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか。	4
5-3	講義室、実習室の管理は適切に行われているか。	4
5-4	図書は適切に設備されているか。	2
5-5	教育用機器備品は設備されているか。	4

- 講義室・実習室共に、外観・総合点検の結果に応じて増改築を行うなど、不良箇所の発見と早期対処で常に適切な状態を維持できるよう今年度も努めた。次年度以降も継続していく。
- 図書の整備については非常に数が多く予算的な都合もあって、新品を前提とした完全な入れ替え実現は難しいため、安価で入手できる方法（フリーマーケットアプリの活用や中古・古本屋などの利用）で「美容系やファッション誌、ヘアカタログ、ヘアスタイル、メイクアップ、ネイル、マツエク特集」などバリエーションを増やし、美容の授業・実習も含めて生徒の技術力・センス向上に役立つよう改めていく。

## 基準 6. 学生支援

6-1	奨学金等、経済的支援は設備されているか。	4
6-2	学生相談、カウンセリングに関する体制が設備・機能しているか。	4
6-3	各学校行事について、適切な事後反省を行っているか。	3
6-4	進路活動に関する支援が設備され、機能しているか。	4
6-5	新たな求人開拓の努力はしているか。	4

- 昨年度に引き続き、個別面談（状況に合わせて三者面談）を主としてカウンセリングの確実な実施を図るため、教員と生徒及び保護者が密に相談できる体制を維持（LINEをベースにチャットや電話での対応）し、問題が発覚した際は関係教職員間で共有し対策を検討、退学に結びつかないよう適切にフォロー・対応した。しかし、依然として一定数は退学してしまう状況なので、モチベーション低下の防止・維持・向上を目指し退学率 0%まではいかないとしても、更に取り組みを強化していく。
- 学校行事の事後反省については、昨年度に比較して大幅に低下したものの、重要事項が一部の教職員のみで共有されるに留まるなど、共有漏れが未だあったため評価を 3 とした。
- 新たな求人開拓については継続して取り組んでいる。

## 基準 7. 管理・運営

7-1	理事会評議員会は適時適切に開催され、機能しているか。	4
7-2	理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	4
7-3	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか。	4
7-4	非常時の危機管理に対する周知は徹底されているか。	4
7-5	個人情報保護法を遵守しているか。	4
7-6	学校の財務情報を公開する適切な体制が設備されているか。	4

- 非常時の危機管理は、昨年度に引き続き定期的に避難訓練を実施、随所に設置している防火・消火設備の定期点検、消火器の交換・設置、教職員の出勤人数及び生徒の出席人数を常に把握するなど非常時に消防・警察等に通報できるよう訓練を適宜実施した。しかしながら、人命に関わる項目、特に AED 設置検討は予算の都合もあり実現に至っていない。又、人命救助訓練についても、未だ実現に至っていないので万全の体制とは言い難い。通常業務に支障が出ない範囲で常勤の教職員に受講させるなど、今後実現に向けて万全の体制を目指し努力していく。
- 財務情報、その他情報公開含め、理事会・評議員会については適切に対応している。

## 今後の課題

今回、学校自己評価報告書を作成し、いろいろと改善しなければならないことが見えてきました。その中でも、コロナ禍以降も定員充足率が未だ低下したままという点です。美容業界へ関心を持つ層は、殆どコロナ禍の影響を受けることなく依然として高い水準であるものの、学校自体の知名度が低く交通の便が悪いこともあって他校との比較検討の際、選択肢に残らないことが多いです。地場においては、知名度が徐々に広まってきたものの依然として認知されていないケースが多く、特に海外からの留学生においては、当校が「留学生受け入れ校」であることが“特定の国や地域”を除いてほとんど知られていない等の問題もあり、当校としても非常に厳しい結果となりました。それを改善させるには、学校自体の認知向上の目的と並行しながら、学生フォローや支援制度の適切な設置及びご案内の継続、地場を中心とした高等学校や中学校の進学ガイダンスに積極的に参加し、先生方並びに保護者の方向けの講習会・説明会を定期的実施していくと共に、美容を志す多くの経済的事由を抱える学生や保護者層へ必要な情報が届くよう、学校の認知度向上を図ることを最重要課題と捉え、引き続き全力で取り組んでまいります。

次に、中途退学防止の目標です。改善すべき項目を見直し、手段・手法を精査し今後も改善を図ってまいります。近年、教育において生徒の学ぶ意欲や学力・体力の低下、SNSにおける問題行動や誹謗中傷など、社会的にも多くの問題を抱えています。当校では、教員の授業・生徒に挑む体制を見直し、礼儀作法や整理整頓などの基本的な振る舞いができるよう人間性を高め、一社会人を輩出する学校の責務と捉え全力で取り組みつつ、地域の方々並びに保護者の皆様や学校関係者の方々と交流することで生徒達も成長し、地域の美容文化向上に貢献できればという思いで、今後の課題として取り組んでまいります。

グルノーブル美容専門学校は、これからも、『あらゆる経済的事由を抱えていようとも、その可能性を閉じてはならない。』という建学の精神の下、美容を志す多くの学生へ広く門戸を開き、優れた人材を育成・排出し社会に貢献してまいります。

令和7年3月1日発行（無断転載禁止）

令和6年度（2024年度）

学校法人北埼玉学園

グルノーブル美容専門学校

「令和6年度 自己評価報告書」

### お問い合わせ先

〒367-0232

埼玉県児玉郡神川町新里 1368-13

Free. 0120 - 223 - 656

平日受付：9：00 ～ 17：00

事務局：自己評価・学校関係者評価 担当宛